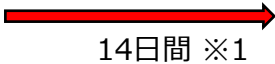


IRIS+Cetuximab療法					
		Day			
薬剤名	用法用量	1	8	15	21
アービタックス (Cetuximab)	初回投与：400mg/m ² 点滴静注（2時間） 2回目以降：250mg/m ²	↓	↓	↓	
イリノテカン (CPT-11)	150mg/m ² 点滴静注（2時間）	↓			
TS-1 (S-1)	1回40mg/m ² 1日2回 経口				

※1 14日間の投与であるが点滴当日帰宅後からの投与であれば15日目朝までの内服となる

【TS-1投与量】

体表面積	1回使用量
1.25m ² 未満	40mg
1.25m ² 以上1.5m ² 未満	50mg
1.5m ² 以上	60mg

【制吐対策】

① 5-HT受容体拮抗薬（Day1）
② デキサメタゾン静注9.9mg 1V（Day1） デキサメタゾン経口8mg（Day2~3）

【基本事項】

EGRF切除不能な進行・再発の結腸・直腸がん ※KRAS野生型のみ

【レジメンポイント】

- ① 前投薬の確認、イリノテカンは催吐性リスク中程度、デキサメタゾンは必要時
- ② 白血球数3000mg/mm³未満、好中球が1500mg/mm³未満または血小板数が10万/mm³の場合は投与を中止または延期
- ③ infusion reaction予防に抗ヒスタミン薬と副腎皮質ステロイドをアービタックス投与30~60分前に服用

【併用禁忌薬】

TS-1が投与されていないこと、および投与中止後7日以上経過していることを確認

※ワルファリン、フェニトインは併用注意

イリノテカンはCYP3A4で代謝されるため併用薬注意、グレープフルーツも

【主な副作用】

脱毛、色素沈着、下痢、骨髄抑制、悪心や口内炎、発疹、皮膚障害、爪囲炎、低Mg血症、Infusion reaction